

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術 I	担当者名	棟方ナナ子(実務家教員)
授業の概要	介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解する。利用者、家族、多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける				
科目の到達目標	・対人援助職としてのコミュニケーション方法を理解する。 ・利用者・家族に対するコミュニケーション技法を習得する。				
DPの観点	①聴く力20% ②表現力20% ④協調性20% ⑥専門知識・技能40%				
授業時間外学修 (予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	課題レポート及び試験結果を返却する。				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。授業への取り組みや試験で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合 (%)	試験60% 授業内提出物20% 授業内活動20%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			コミュニケーション技術とは プライベートスペース	①②	コミュニケーションカード
2			「介護におけるコミュニケーションとは」	①②	コミュニケーションカード
3			非言語コミュニケーション 協働	①②④	コミュニケーションカード
4			「介護におけるコミュニケーションの対象」	①②④⑥	コミュニケーションカード
5			「援助関係とコミュニケーション」	①②④⑥	コミュニケーションカード
6			母音言語 開かれた質問・閉じられた質問	①②④⑥	コミュニケーションカード
7			「コミュニケーション態度に関する基本技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード レポート課題
8			個別性に合わせたコミュニケーション	①②④⑥	コミュニケーションカード
9			「言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本」	①②④⑥	コミュニケーションカード
10			言葉の真意 読み取り	①②④⑥	コミュニケーションカード
11			「目的別のコミュニケーション技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
12			福祉の視点とコミュニケーション	①②④⑥	コミュニケーションカード
13			「集団におけるコミュニケーション技術」	①②④⑥	コミュニケーションカード
14			個別性とコミュニケーション	①②④⑥	コミュニケーションカード
15			「コミュニケーション障害への基本対応」	①②④⑥	コミュニケーションカード レポート課題
期末試験					まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第5巻「コミュニケーション技術」荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--